

商工会主催で実施したサイクルイベント「ファンライド鏡野」、県ノルディックウォーク連盟が公認する「鏡野町健康ウォーク&ラン奥津湖」南北コースとして位置づけられ、今後も積極的な利用の促進を図ります。

②地域おこし協力隊派遣制度を活用し、源流の里づくりをする提案をします。

現在、地球緑化センターから「緑のふるさと協力隊」に来てもらい、1年間、住民として暮らし、地域密着型の活動に従事している中で、多くの方が町内に定着している実績から、当面はこちらの受け入れを続けま

す。その中で「地域おこし協力隊」の定住に結びつく受け入れ態勢等をしっかりと考察します。

③吉井川と香々美川の合流地点に川に親しむ河川公園を作り観光の南の入り口としてみては。

河川公園の計画はありますが、河川は町の重要な観光資源の一部と考えます。

★地域医療構想について

①鏡野病院の病床削減数は。

単に病床削減だけが目的ではなく、すぐに削減するといった計画はありません。

②病床を削減して医療ニーズに応じることができるとの。

現在の鏡野病院の病床に関する課題は、急性期・慢性期どちらにも属さない、医療ニーズとして増加している新たに回復的な地域包括ケア病床を導入するための施設基準の準備を進めています。

③医療機関の経営への影響は。